

# シンポジウム

## 「アジアの物理教育—現状及びこれから目指す道」

中等教育や大学初年度の物理教育では、その目的や手法について様々な変革の試みが世界の各地で起きています。その中で、地域によらず共通の課題とは、地域に特有の課題とは何であるか、というテーマで議論することが、現在必要とされています。

2013年7月に幕張メッセ国際会議場で開催されるアジア太平洋物理会議(APPC12)では、初めて物理教育のセッションが実現します。これを機に、アジアの物理教育の現状を学び、これからどのような道を目指して行けるのかということ議論する場を設けることを企画しました。

あらゆる学校種で物理教育に関わる教員や研究者に集まっていただき、アジアの物理教育の未来について議論すると共に、関係者同士の国際的な交流が深まることを期待しています。

【日時】 2013年7月15日（月祝）14：00～18：00（～21：00）

【場所】 麻布高等学校大会議室 (<http://www.azabu-jh.ed.jp/map/map.htm>)

【主催】 NPO 法人理科カリキュラムを考える会

【共催】 日本物理教育学会  
CIEC（コンピュータ利用教育学会）  
東海大学教育開発研究所  
物理教育研究会（APEJ）

【参加費】 無料

### 【プログラム】

14：00 開会挨拶・参加者紹介

14：15 「韓国の物理教育の現状と課題」

Junehee Yoo (Department of Physics Education, Seoul National University)

15：00 「中国の物理教育の現状と課題」

LUO Xingkai (Faculty of Physics & Technology, Guangxi Normal University, Guilin)

15：45 「フィリピンの物理教育の現状と課題」

Ivan B. Culaba (Department of Physics, Ateneo de Manila University)

16：30 「日本の物理教育の現状と課題」

Yoji Takikawa (Research Institute of Educational Development, Tokai University)

17：15 ディスカッション「アジアの物理教育がこれから目指す道」

18：00 閉会挨拶

19：00 物理教育ディナー（会費制／～21：00）

※前日、および当日の午前中まで、同会場で物理の基本実験講習会を開催しています。